

# images 展

～アール・ブリュット、芸術の地平を開く～

2016年2月5日(金)・6日(土)9:00～21:00 7日(日)9:00～14:00  
大津プリンスホテルコンベンションホール 淡海  
観覧料:500円 ※フォーラム参加者は無料

主催:アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会  
助成:平成27年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

※写真は昨年度の展示風景です。  
\*都合によりプログラム内容、時間等が  
変更になる場合がございます。

## 障害者の文化芸術活動の今を知る

2月5日(金)

厚生労働省 障害者の芸術活動支援  
モデル事業実践報告会 I  
～障害者の芸術活動の裾野を広げるために～

【13:00～13:30】 報告  
滋賀県施設合同企画展実行委員会の取り組み

【13:30～13:50】 アピール  
全国障害者23団体による文化芸術  
ネットワークが誕生しました!  
久保厚子(全国手をつなぐ育成会連合会 会長)

【14:00～15:00】 実践報告  
国内の特別支援学校の現場から  
障害のある子どもたちのアートを発信するために  
小栗祐美(北海道教育大学附属特別支援学校校長)  
柳田陽一(岩手県立盛岡視覚支援学校[岩手県立盲学校]教諭)  
米田昌功(富山県立高岡支援学校教諭・美術家)  
岩淵昌仁(滋賀県立野洲養護学校教諭)  
進行:木元聖奈(アイサードバイザー)

主催:社会福祉法人グロー(GLOW)  
助成:厚生労働省 障害者の芸術活動支援モデル事業

アール・ブリュット国際フォーラム2016  
～世界の現場から～ ①

【15:30～16:40】 特別報告 スウェーデン 通訳あり  
私たちが取り組む専門家による造形活動教育について  
ヨハン・ソルセル Johan Thorsell (ヘグウィック特別支援学校副校長)

【16:50～18:00】 パネルディスカッション  
アール・ブリュット作品の調査から見える風景  
山本和弘(栃木県立美術館 シニア・キュレーター)  
渡辺亜由美(滋賀県立近代美術館 学芸員)  
はたよしこ(NO-MA アート・ディレクター)  
進行:薬戸さゆみ(NO-MA学芸員)

主催:アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会  
共催(予定):独立行政法人国際交流基金  
助成:平成27年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

2月6日(土)

厚生労働省 障害者の芸術活動支援モデル事業実践報告会 II

【9:30～11:30】  
障害者の芸術活動支援モデル事業 実施団体による実践報告  
障害者の文化芸術活動の推進に向けて 川又竹男(厚生労働省 障害保健福祉部 企画課長)

アール・ブリュット国際フォーラム2016 ～世界の現場から～ ②

【11:40～12:50】 パネルディスカッション  
障害者の文化芸術活動を世界に発信!  
小倉和夫(日本財団パラリンピックサポートセンター理事) 松下功(東京芸術大学副学長)  
外務省 大臣官房 文化交流・海外広報課より 進行:岡山慶子(朝日エル会長)

【13:30～14:40】 特別報告 1 オーストリア 通訳あり  
マリア・グギング国立神経科病院の芸術家たち ヨハン・ハイラッハー Johann Feilacher (グギング代表、精神科医)

【14:50～15:50】 講演 世界的美術館の動向から  
アール・ブリュットという言葉が必要な理由 保坂健二郎(東京国立近代美術館 主任研究員)

【16:00～17:10】 特別報告 2 スウェーデン 通訳あり  
アトリエイヌティにおける造形活動の取り組み エヴァ・オルフソン Eva Olofsson (アトリエイヌティ代表)

【17:20～18:30】 特別報告 3 タイ 通訳あり  
「セルフ・アート・エキシビジョン・セラピー」の取り組みから ジュンポン・チナプラパット Jumphol Chinapraphat (芸術療法家)

2月7日(日)

アール・ブリュットネットワークフォーラム2016に関するお問い合わせ  
事務局:滋賀県総合政策部文化振興課(担当:野瀬) TEL:077-528-3344 E-mail: binoshiga@pref.shiga.lg.jp

アール・ブリュットネットワークフォーラム2016 ～2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて～

【10:00～10:20】 報告  
フランス・ナント市における交流事業の概要について 西川賢司(社会福祉法人グロー[GLOW]文化芸術推進課長)

【10:30～11:40】 講演  
少数者が、世界の見方を革新する 平田オリザ(演出家・劇作家、東京芸術大学特任教授)

【11:50～13:10】 シンポジウム  
2020年東京オリパラに向けたアール・ブリュットの取り組みについて  
佐伯浩治(文化庁文化部長) 桃原慎一郎(東京都生活文化局長) (東京都)  
富永重紀(滋賀県総合政策部 理事[文化・スポーツ担当]) (滋賀県)  
進行:伊熊泰子(株式会社新潮社「芸術新潮」編集者)

【14:00～16:00】  
アール・ブリュットネットワーク会員交流会  
主催:滋賀県、社会福祉法人グロー(GLOW) 協力:アール・ブリュットネットワーク  
助成:平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業